地域再生計画の作成方法 (ポイント集)

(地方創生応援税制活用)

ポイント集について

- □ このポイント集は、地方創生応援税制を活用するために地域再生計画を作成し、又は変更する場合における、特に照会の多い事項や間違いの多い事項を中心に、地域再生計画の作成方法をお知らせするものです。
- □ 地方創生応援税制の詳細は、認定申請を行う認定回における地域再生計画認定申請マニュアル(総 論)・(各論)をご確認ください。
- □ 認定申請に当たっては、当該認定申請に係る事務連絡をご確認いただき、事前相談期間中に内閣府 地方創生推進事務局までご連絡ください。

地域再生計画の名称

地域再生計画

- 地域再生計画の名称
 - ○○町森林資源活用プロジェクト ①
- 地域再生計画の作成主体の名称

○○県○○郡○○町

『地域再生計画の名称』

- 地域再生計画の名称は、認定時に官報に掲載さ れます。
- 申請する計画の特徴・独自性を端的に表した名 称としてください。
- 改行せず、記載してください。
- 記号や環境依存文字を使用しないでください。

地域再生計画の作成主体の名称

地域再生計画

- 地域再生計画の名称
 - ○○町森林資源活用プロジェクト
- 地域再生計画の作成主体の名称
 - ○県○○郡○○町

- 2 『地域再生計画の作成主体の名称』
 - 作成主体が**都道府県**の場合 都道府県名を記載してください。
 - 作成主体が市の場合 市名のみ記載してください(都道府県名は記載 しないでください。)
 - 作成主体が東京23区又は町村の場合 都道府県名から記載してください。

3 地域再生計画の区域

• • •

- 2 地域再生計画の作成主体の名称 ○○県○○郡○○町
- 3 地域再生計画の区域
 - ○○県○○郡○○町の全域 3

. . .

③ 『地域再生計画の区域』

- 〇 地域再生計画による事業の効果が波及する区域 を記載してください(事業を実施する区域のみでは ありません。)。
- 〇自治体名の記載方法は、②『地域再生計画の作成 主体の名称』をご確認ください。
- 区域を自治体の全域とする場合 「○○の全域」と記載してください。
- 区域を自治体の一部とする場合
 - ・「〇〇の区域の一部(〇〇地区)」等、区域が特定できるよう記載してください。
 - ・「〇〇の周辺」等、あいまいな記載は避けてくだ さい。

. . .

- 4 地域再生計画の目標 4
 - 4-1 地域の現状 5

【地理的及び自然的特性】

• •

④ 『地域再生計画の目標』

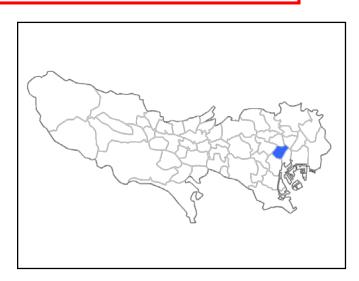
- 地域再生計画により解決すべき地域の課題とその解決方法を記載します。
- 地域の課題の原因となる地域の現状(⑤『地域の現状』) → 地域の現状から浮かび上がる解決すべき地域の課題(⑥『地域の課題』) → 地域の課題を解決する方法及び目標(⑦『目標』)の順で記載してください。
- できるだけ具体的に、データ(数値)を明らかにして記載してください。
- 〇 データ(数値)を記載する場合は、当該データ(数値)の基準日(いつ時点のものか)を明らかにして記載 してください。

⑤ 『地域の現状』

- 地域の課題(⑥『地域の課題』)の原因となる地域の現状について、
 - ・【地理的及び自然的特性】 ・【産業】 ・【人口】 ・【文化的所産】 ・【その他】 等に区分して分かりやすく記載してください。
- 地域の課題と関係のない地域の現状については、記載する必要はありません。
- 〇 地域の課題の原因を分析した上で、記載してください。

. . .

- 4 地域再生計画の目標
 - 4-1 地域の現状
 - ⑥ 【地理的及び自然的特性】



○○町は、○○県の山間部、 ○○市の北西に位置する町である。本町の○%は森林区域であり、中心部を○○川が流れるなど、豊かな自然環境に恵まれている。

【産業】

本町は、江戸時代から〇〇川の水運を利用してスギ等の木材を建築用資材として出荷し、最盛期の昭和〇年代には町民の約〇割である〇人が林業を含む木材関連産業に従事する等、林業を基幹産業として発展してきた。…

- ⑥ 【地理的及び自然的特性】
 - 〇 地理的及び自然的特性は必ず記載してください。
 - 〇 ③『地域再生計画の区域』 の区域の特性を記載してくだ さい。
 - 〇 必要に応じて、 ③『地域再生計画の区域』の区域の図を 挿入するなどしてわかりやす く記載してください。
- 具体的なデータ(数値)を、時点・ 出典を明らかにして記載してください。
- データ(数値)全体が把握できる図表を挿入することが好ましいです。
 - → ⑧【【人口】』参照

. . .

- 4 地域再生計画の目標
 - 4-1 地域の現状

【地理的及び自然的特性】 (略)

7 【産業】

本町は、江戸時代から〇〇川の水運を利用してスギ等の木材を建築用資材として出荷し、最盛期の昭和〇年代には町民の約○割である〇人が林業を含む木材関連産業に従事する等、林業を基幹産業として発展してきた。しかしながら、平成〇年代以降、輸入木材の台頭・後継者不足により林業は衰退し、平成〇年における木材出荷量は昭和〇年の〇割程度にとどまる。

• • •

⑦ 【産業】

- 〇 地域の課題と関連する場合に記載してください。
- 地域の課題と関連する産業分野を特定して記載してください。
- 〇 地域の雇用状況・経済状況を必要に応じて具体的 に記載してください。
- 地域の課題及び目標の根拠として必要な事項を漏れなく記載してください。
- 具体的なデータ(数値)を、時点・出典を明らかにして記載してください。
- データ(数値)全体が把握できる図表を挿入することが 好ましいです。
 - → ⑧『【人口】』参照

. . .

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

【地理的及び自然的特性】 (略)

産業

(略)

8 【人口】

本町の人口は、〇年の〇人をピークに減少が続いており、直近の国勢調査(平成〇年実施)では〇人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、現状のペースでは、平成〇年には昭和〇年比で総人口が約〇%減、生産年齢人口では〇%減となる見込みである。([図1]参照)。

. . .

⑧ 【人口】

- 〇 地域の課題と関連する場合に記載してください。
- 〇 人口の区分を明らかにして記載してください。

例 ・人口

• 交流人口

・関係人口

・生産年齢人口 ・老年人口 ・年少人口

• 自然増減 • 社会増減

つ 地域の課題及び目標の根拠として必要な事項を漏れなく記載してください。

- 具体的なデータ(数値)を、時点・出典を明らかにして記載してください。
- データ(数値)全体が把握できる図表を挿入することが 好ましいです。
 - → 次ページ参照

図表の例

[図1]○町人口推移 12000 64.70 65.44 70.00 61.16 11000 60.00 952 1089 10000 45.67 9000 50.00 8000 7000 40.00 46.05 6000 30.00 5000 4000 20.00 3000 2000 10.00 1000 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 2055 2060 出典:総務省「国勢調査」(平成〇年) 国立社会保障・人口問題研究所「地域将来推計人口」 (平成○年)

〇 データ(数値)全体 が把握できる内容とし てください。

○ 出典を明らかにして ください。

4 地域再生計画の目標
4-1 地域の現状
【地理的及び自然的特性】 (略)
【産業】 (略)
【人口】 (略)
⑨【文化的所産】
①【その他】

4-2 地域の課題

本町の人口は、4-1記載のとおり、現在ではピーク時の昭和〇年の人口の約〇割となっており、このまま人口減少が進行した場合は、町内経済の衰退が懸念されている。人口の減少は、本町の基幹産業である林業の衰退に伴い、本町内の雇用の機会が減少したことで、…

⑨ 【文化的所産】

- 〇 地域の課題と関連する場合に記載してください。
- 〇 地域資源であり、かつ、地域の課題及び目標と関 連する文化的所産について記載してください。
- 〇 地域の課題及び目標の根拠として必要な事項を漏れなく記載してください。

① 【その他】

- 〇 ⑥ 『【地理的及び自然的特定】』から⑨ 『【文化的所産】』まで以外の事項で、地域の課題及び目標の根拠として必要な事項がある場合は記載してください。
- 地域の課題と関連しない項目については、記載しないで 差し支えありません。

. . .

- 4 地域再生計画の目標
 - 4-1 (略)
 - 4-2 地域の課題 ①

本町の人口は、4-1記載のとおり、現在ではピーク時の昭和〇年の人口の約〇割となっており、このまま人口減少が進行した場合は、町内経済の衰退が懸念されている。人口の減少は、本町の基幹産業である林業の衰退に伴い、本町内の雇用の機会が減少したことで、若者の町外への流出(社会減)が進んだことが原因と考えられる。若者の雇用機会を創出し、生産年齢人口減少を食い止め、ひいては町内経済の衰退を防止することが、本町の課題である。

⑪ 地域の課題

- 〇 ⑤『地域の現状』の原因となる、地域の課題を具体的に記載してください。
- 地域の課題は、このまま放置すると、地域再生に 支障を来すものであることを具体的に記載してくだ さい。

- 原因を分析し、具体的に記載してください。
- 具体的なデータ(数値)を、時点・出典を明らかにして 記載してください。

. . .

4 地域再生計画の目標

 $4-1 \cdot 4-2$ (略)

4-3 目標 💯

【概要】13

4-2に記載した課題に対応するため、本町の豊かな森林資源を活用し、『体験型森林ツーリズム事業』及び『木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業』を一体的なプロジェクトとして実施することで、町内経済の活性化と雇用機会の創出を実現する。あわせて、UIJターンにより本町に移住する若者に対して補助金を交付することで生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進し、人口減少に歯止めをかけることを目標とする。

【数値目標】

. . .

12 目標

〇 ① 『地域の課題』で分析した課題に直接応 える解決方法及び解決するための取組の目標 値を記載してください。

13 概要

- 〇 具体的な課題の解決方法及び取組の目標値 を記載してください。
- 〇 記載する取組は、5-2及び5-3を踏ま えた内容としてください。

. . .

4 地域再生計画の目標

 $4-1 \cdot 4-2$ (略)

4-3 目標

概要

(略)

【数値目標】

(14)

事業の名称	体験型森林 ツーリズム事業	木材製品の付加価 値向上及び新規販 路の開拓事業	基準年月
KPI	森林ツーリズム 参加観光客数	木材製品出荷額	
申請時	0人	1 億円	平成30年3月
平成30年度	1, 000人	1 億円	平成31年3月
平成31年度	4, 000人	1 億2, 000万円	平成32年3月
平成32年度	8, 000人	1 億5, 000万円	平成33年3月

. . .

4 【数值目標】

- 〇 ① 『概要』で記載した目標が達成されているか 否かが直接検証できる目標値を設定してください。
- 〇 ②『地域再生計画の作成主体の名称』で記載した作成主体が作成している地域再生基本方針及び地方版総合戦略と整合性がとれた目標を設定してください。
- 5-2及び5-3に記載する事業を踏まえた目標を設定してください。
- 〇 目標値は
 - ・ できる限り実数
 - アウトカムベース
 - ・ 明確かつ具体的
 - 測定可能
 - 達成可能

であるものを設定してください。

- 〇『6 計画期間』で設定した終期まで設定してください。
- 〇 KPIは、「地方創生事業実施のためのガイドライン(平成30年4月内閣府地方創生推進事務局)」を参考に設定してください。

. . .

- 5 地域再生を図るために行う事業
 - 5-1 全体の概要 15

本町は、山間部に所在しており、林業を基幹産業としてき た。しかしながら、平成〇年代以後は、輸入木材の台頭等に より、林業が衰退したことで雇用の機会が減少し、生産年齢 人口の流出が続いてきた。このまま人口減少が進むと、平成 ○年には、本町の人口は昭和○年比で約○%減となる見込み である。本町の豊かな森林資源を活用し、『体験型森林ツー リズム事業』及び『木材製品の付加価値向上及び新規販路の 開拓事業』を一体的なプロジェクトとして実施することで、 町内経済の活性化と雇用機会の創出を実現し、あわせてUI Jターンにより本町に移住する若者に対して補助金を交付す ることで生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進し、人口 減少に歯止めをかけることを目標とする。

⑤ 全体の概要

- 5-2及び5-3に記載する事業の概要を端的に記載してください。
- 〇 ③『【概要】』と同様の記載で差し 支えありません。

. . .

- 5 地域再生を図るために行う事業
 - 5-1 (略)
 - 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業
- - ① 事業の名称⑪

森林資源活用プロジェクト

ア 体験型森林ツーリズム事業

- イ 木材製品の付加価値向上及び新規販路の開 拓事業
- ② 事業区分 農林水産業の振興
- ③ 事業の目的及び内容

【目的】

本町は、山間部に所在しており、…

- 16 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府): 【A2007】
 - 〇 このまま転記してください。
 - 地方創生応援税制以外に活用する支援措置がある場合は、「(1) まち・ひと~」のようにナンバリングしてください。

① 事業名

- 〇 申請する事業の特徴・独自性を端的に表 した名称としてください。
- 事業に小区分がある場合は、各区分の名称 もあわせて記載してください。

. . .

- 5 地域再生を図るために行う事業
 - 5-1 (略)
 - 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 (1) (略)
 - ① ____(略)
 - ② 事業区分 **18** 農林水産業の振興
 - ③ 事業の目的及び内容

【目的】

本町は、山間部に所在しており、林業を基幹産業としてきた。しかしながら、平成〇年代以後は、輸入木材の台頭等により、林業が衰退したことで雇用の機会が減少し、生産年齢人口の流出が続いてきた。このまま人口減少が進むと、平成〇年には、本町の人口は昭和〇年比で約〇%減となる見込みである。本町の…

18 事業区分

○ 次の区分から、最も近しい区分を1つ選択し、 記載してください。

地域産業の振興	観光業の振興
農林水産業の振興	ローカルイノベーション
人材の育成・確保	移住•定住促進
生涯活躍のまち	少子化対策
働き方改革	小さな拠点
まちづくり(コンパクトシテ	一ィ等)

〇 複数の区分に該当する場合は、最も関連性が 強いものを選択してください。

. . .

- 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業
 - (1) (略)
 - ①•② (略)
 - ③ 事業の目的及び内容

【目的】19

本町は、山間部に所在しており、林業を基幹産業としてきた。しかしながら、平成〇年代以後は、輸入木材の台頭等により、林業が衰退したことで雇用の機会が減少し、生産年齢人口の流出が続いてきた。このまま人口減少が進むと、平成〇年には、本町の人口は昭和〇年比で約〇%減となる見込みである。本町の豊かな森林資源を活用し、『体験型森林ツーリズム事業』及び『木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業』を一体的なプロジェクトとして実施することで、町内経済の活性化と雇用機会の創出を実現し、これに伴い生産年齢人口を転入超過(社会増)とすることで、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

19 【目的】

- 地方創生応援税制を活用する事業について、 4で記載した地域の現状・地域の課題を踏まえ ながら簡潔に記載してください。
- 〇 5-1全体の概要の記載事項のうち、地方創生応援税制を活用する事業に関連する事項の抜粋で差し支えありません。

. . .

- 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業
 - (1) (略)
 - ①•② (略)
 - ③ 事業の目的及び内容

【目的】 (略)

【事業の概要】

アー体験型森林ツーリズム事業

本町と林業組合、林業事業者が共同して、町内在住の林業従事者が体験型の森林ツーリズム(トレッキングや間伐体験等)のガイドを行う事業を実施する。この事業により、林業従事者の雇用の場の拡大と町内事業者の観光収入の増加を図る。

イ

(略)

② 【事業の概要】

- 事業期間中の事業内容を簡潔に記載してください。
- 事業に小区分がある場合は、それぞれについて記載してください。

. . .

③ 事業の目的及び内容

【目的】・【事業の概要】 (略)

【各年度の事業の内容】①

ア 体験型森林ツーリズム事業

(平成30年度)

森林ツアーのルートや体験事業のコンテンツについて検討し、モニターツアーを5回 実施する。あわせて、大都市圏の住民に対してモニターツアーのPRを実施する。

(平成31年度)

上半期で本格的なトレッキングルートの整備工事を終え、下半期から本格的に森林ツアーを実施する。大都市圏の住民に対して、森林ツアーが本格的に始まったことをPRする。

1

(略)

② 【各年度の事業の内容】

- 年度ごとに、いつ・誰が・何を行うのか(自治体は何を実施するのか)等、事業主体を明確にした上で、できるだけ具体的に記載してください。
- 補助金等を交付する事業である場合は、補助先及び補助率を記載してください。
- 事業に小区分がある場合は、それぞれについて記載してください。

. . .

- ① \sim ③ (略)
- ④ 地方版総合戦略における位置付け 22

本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略においては、森林資源を活用した交流人口拡大施策と木材製品の出荷促進施策を定めており、「森林保全・活用プロジェクト」は、これらを総合的に実施する事業である。また、総合戦略の基本目標として、年間観光入込客数(現状5,000人)平成33年度30,000人)、町内総生産額(現状50億円→平成33年度80億円)を定めており、本プロジェクトは、まさにこの目標の達成に直接寄与するものである。

. . .

② 地方版総合戦略における位置づけ

- 〇 地方創生応援税制を活用する事業が、地方版総合戦略に記載されたどの事業に該当するか、明らかにして記 載してください。
- 地方創生応援税制を活用する事業が、地方版総合戦略に記載されたどの基本目標に寄与するか、明らかにして記載してください。
- 〇 地方創生応援税制を活用する事業が、地方版総合戦略に記載されたどのKPIの達成に寄与するか、明らか にして記載してください。

. . .

1~4 (略)

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標(KPI))



事業の名称	体験型森林 ツーリズム事業	木材製品の付加価値 向上及び新規販路の 開拓事業	基準年月
KPI	森林ツーリズム 参加観光客数	木材製品出荷額	
申請時	0人	1 億円	平成30年3月
平成30年度	1, 000人	1 億円	平成31年3月
平成31年度	4, 000人	1 億2, 000万円	平成32年3月

- ② 事業の実施状況に関する客観的な 指標(重要業績評価指標(KPI))
 - 〇 ②及び②で記載した目標が達成されているか否かが直接検証できる目標値を設定してください。
 - 〇 ②『地域再生計画の作成主体の名称』で記載した作成主体が作成している地域再生基本方針及び地方版総合戦略と整合性がとれた目標を設定してください。
 - 〇 目標値は
 - できる限り実数
 - アウトカムベース
 - ・ 明確かつ具体的
 - 測定可能
 - 達成可能

であるものを設定してください。

- 事業期間分のKPIを設定してください(計画期間ではありません。)。
- 〇 KPIは、「地方創生事業実施のためのガイドライン (平成30年4月内閣府地方創生推進事務局)」を参考 に設定してください。

. . .

① \sim 5 (略)

⑥ 事業費 24

ア」体験型森林ツーリズム事業

(単位:千円)

-t- \\\(-th\)		事業費の額	
事業費の区分	平成30年度	平成31年度	計
委託料	6,500	3,000	9,500
使用料	1,000	0	1,000
工事請負費	7,500	20, 000	27, 500
需用費	700	1,000	1,700
役務費	300	3,000	3,300
事業費計	16, 000	27, 000	43, 000

イオ材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業

(単位:千円)

			(中江· I I I) /
		事業費の額	
事業費の区分	平成30年度	平成31年度	計
委託料	10,000	5,000	15, 000
使用料	8,000	2,000	10,000
工事請負費	5,000	0	5,000
需用費	7,500	1, 500	9,000
役務費	3,000	1,000	4,000
事業費計	33, 500	9, 500	43, 000

②4 事業費

- 〇 予算書の節ごとの区分で記載して ください。
- 複数の事業が1つのプロジェクト に包括され、予算が付けられる場合 は、地方創生応援税制を活用する事 業に係る費用のみを抽出し、記載し てください。
- 〇 予算上の費用を記載してください (実際に確定した事業費ではありません。)
- 〇 補正等で予算上の費用額が変更となった場合は、地域再生計画の変更が必要です。
- 事業に小区分がある場合は、それぞれについて記載してください。

. . .

① \sim 6 (略)

⑦ 申請時点での寄附の見込み



(単位:千円)

l	al music as a		寄附の見込額	
	寄附法人名	平成30年度	平成31年度	1
	株式会社〇〇	20, 000	_	20, 000
	製造業	100	100	200
	サービス業	100	100	200
	計	20, 200	200	20, 400

. . .

② 申請時点での寄附の見込み

- O いずれかの年に、10万円以上の寄 附の見込みがあることが必要です。
- 〇 具体的な企業名を記載される場合は、当該企業から地域再生計画に掲載することの了承をあらかじめ得てください。
- 〇 地域再生計画に具体的な企業名を 掲載することの了承が得られなかっ た場合は、「製造業」等、業種を記 載してください。
- 事業に小区分がある場合であっても、一括して記載してください。

⑧ 事業の評価の方法(PDCAサイクル)

【評価の手法】26

事業のKPIである森林ツーリズム参加観光客数及び木材製品出荷額について、実績値を公表する。また、当町の総合戦略策定委員(△×銀行○○支店役員、○●大学教授)により、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

【評価の時期及び内容】 🐠

毎年度〇月に外部有識者(総合戦略策定委員)による効果検証を行い、翌年度以降の取組 方針を決定する。

【公表の方法】28

目標の達成状況については、検証後速やかに〇〇町公式WEBサイト上で公表する。

②6 【評価の手法】

〇 ⑤で設定したKPIについて、自治体以外の第三者が参画した評価組織による評価を受ける旨を記載して ください。

② 【評価の時期及び内容】

○ 評価は毎年行う旨を記載してください。

28 【公表の方法】

〇 自治体のホームページ等、第三者がアクセスできる媒体で公表する旨を記載してください。

①~8 (略) 9 事業期間 **②** 平成○年○月~平成32年3月

. . .

29 事業期間

〇 地方創生応援税制は、平成32年3月31日までの制度であるため、当該日以前を終期として記載してください。

- 5 地域再生を図るために行う事業
 - $5-1 \cdot 5-2$ (略)
 - 5-3 その他の事業
 - 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置
 - 該当なし

. . .

③ 地域再生基本方針に基づく措置

- 〇 地域再生基本方針別表の施策名欄中地域における男女共同参画促進を支援するアドバイザー派遣支援事業 から生涯活躍のまち形成事業計画によるサービス付き高齢者向け住宅の入居者要件の設定までの施策(地域再 生計画認定申請マニュアル(各論)の地域再生計画・支援措置一覧の2)地域再生計画と連動した支援措置に 記載された施策)を活用する場合に記載してください。
- 記載事項は、地域再生計画認定申請マニュアル(各論)の各施策の該当頁をご確認ください。
- 〇 支援措置を活用しない場合は、「該当なし」と記載してください。

- 5 地域再生を図るために行う事業
 - $5-1 \cdot 5-2$ (略)
 - 5-3 その他の事業
 - 5 3 1 (略)
 - 5-3-2 支援措置によらない独自の取組 **③**
 - (1) 若者移住定住促進補助金事業 32
 - ① 事業概要

UIJターンにより本町に移住する若者に対して補助金を交付することで、生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進し、人口減少に歯止めをかけることを目標とする。

③ 支援措置によらない独自の取組

- 〇 地域再生計画で設定した目標を達成するために、国の補助金等に依らず、地域再生計画を作成した自治体 が独自に実施する取組を記載してください。
- 〇 必ず1つ以上の事業を記載してください。

② 独自に取り組む事業の名称

○ 事業の特徴・独自性を端的に表した名称としてください。

. . .

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 若者移住定住促進補助金事業

① 事業概要 33

UIJターンにより本町に移住する若者に対して補助金を交付することで、生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進し、人口減少に歯止めをかけることを目標とする。

② 事業実施主体

34)

○○県○○郡○○町

③ 事業実施期間

平成30年4月1日から平成33年3月31日まで

. . .

③ 事業概要

- 〇 独自で取り組む事業について、簡潔に記載してください。
- 〇 ④『地域再生計画の目標』で掲げた地域 の課題の解決及び目標の達成に資する事業 を設定してください。

34 事業実施主体

- 〇 独自で取り組む事業を実施する者を記載 してください。
- 記載方法は、②『地域再生計画の作成主 体の名称』をご確認ください。

③ 事業実施期間

〇 地域再生計画は、おおむね5年(少なくとも3年以上)とする必要があるため、平成33年3月31日以後の終期を設定してください。

6 計画期間

6 計画期間 36

地域再生計画の認定の日から平成33年3月31 日まで

. . .

36 計画期間

- 〇 5-2及び5-3で設定した事業のうち最も終期が遅いものと揃えてください。
- つ 地域再生計画は、おおむね5年(少なくとも3年以上)とする必要があります。

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

- 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項
 - 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法 **③** 4に掲げるKPIである森林ツーリズム参加観光客数及び木材製品出荷額について、実績値を公表する。また、当町の総合戦略策定委員(△×銀行○○支店役員、○●大学教授)により、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

③ 目標の達成状況に係る評価の手法

- 〇 4で設定したKPIについて、自治体以外の第三者が参画した評価組織による評価を受ける旨を記載して ください。
- 〇 ㉑『評価の手法』と同様の手法とする場合は、㉑『評価の手法』と同様の記載として差し支えありません。

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

- 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項
 - 7-1 (略)
 - 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容 39 毎年度〇月に外部有識者(総合戦略策定委員)による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。
 - 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法 **39** 目標の達成状況については、検証後速やかに〇〇町公式WEBサイト上で公表する。

③ 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

- 評価は毎年行う旨を記載してください。
- 〇 ②『評価の時期及び内容』と同様の手法とする場合は、②『評価の時期及び内容』と同様の記載として差し支 えありません。
- ③ 目標の達成状況に係る評価の公表の手法
 - 自治体のホームページ等、第三者がアクセスできる媒体で公表する旨を記載してください。
- 〇 ②8『公表の方法』と同様の手法とする場合は、②8『公表の方法』と同様の記載として差し支えありません。

书 域 申 1 唧 ⊞ 記載例 (H)

地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称
- ○○町森林資源活用プロジェクト
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
- ○○県○○郡○○町
- 3 地域再生計画の区域
- ○○県○○郡○○町の全域
- 4 地域再生計画の目標
- 4 一 1 地域の現状

【地理的及び自然的特性】



〇〇町は、〇〇県の山間部、〇〇市の北西に位置する町である。本町の〇%は森林区域であり、中心部を〇〇川が流れるなど、豊かな自然環境に恵まれている。

【産業】

平成○年における木材出荷量は昭和○年の○割程度にとどまる。 がら、平成○年代以降、輸入木材の台頭・後継者不足により林業は衰退し、 木材関連産業に従事する等、 して出荷し、最盛期の昭和〇年代には町民の約〇割である〇人が林業を含む 本町は、江戸時代から〇〇川の水運を利用してスギ等の木材を建築用資材と 林業を基幹産業として発展してきた。 しかしな

所によると、 平成〇年実施) 本町の人口は、 生産年齢人口では○%減となる見込みである。 現状のペースでは、平成〇年には 昭和〇年比で総人口が約〇% では〇人まで落ち込んでいる。 〇年の〇人をピークに減少が続いており、 国立社会保障・人口問題研究 ([図1]参照) 直近の国勢調査

书 域 电 H 唧 ⊞ 記載例 H)

12000 11000 10000 6000 8000 9000 1000 2000 3000 4000 5000 7000 952 1089 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 2055 2060 .70 569 2 65.44 255 26 1995 61.16 年少人口 822 is 年少人口割合 45.67 2036 46.05 老年人口割台 (%) 60.00 0.00 10.00 20.00 30.00 40.00 50.00 70.00

[図1] 〇町人口描物

出典:総務省「国勢調査」(平成〇年)

国立社会保障· 人口問題研究所 「地域将来推計人口」 (平成〇年)

4-2 地域の課題

因と考えられる。 雇用の機会が減少したことで、 されている。 ○割となっており ては町内経済の衰退を防止するこ 本町の人口は、 人口の減少は、 若者の雇用機会を創出し、 4 1 のまま人口減少が進行した場合は、町内経済の衰退が懸念 1記載のとおり、 本町の基幹産業である林業の衰退に伴い、本町内の 若者の町外への流出(社会減)が進んだことが原 とが、本町の課題である。 現在ではピーク時の昭和〇年の人口の約 生産年齢人口減少を食い止め、

4-3 目標

【概要】

者に対して補助金を交付する 雇用機会の創出を実現する。 拓事業』 体験型森林ツーリズム事業』及び『木材製品の付加価値向上及び新規販路の開 人口減少に歯止めをかける 2に記載した課題に対応するため、本町の豊かな森林資源を活用し、 を一体的なプロジェクトとして実施することで、 1 あわせて、 \sim 1 で生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進 \mathcal{C} を目標とする。 \cup I J ot y-ンにより本町に移住する若 町内経済の活性化と

地域再 11 唧 ⊞ 記載例 金文

【数值目標】

1億5,000万円 平成33 年 3 月	1億5,000万円	丫000 '8	平成32年度
1億2,000万円平成32年3月	1億2,000万円	4,000人	平成31年度
1億円平成31年3月	1億円	1,000人	平成30年度
1億円 平成30年 3月		γ0	申請時
	木材製品出荷額	森林ツーリズム参加観光客数	ΚΡΙ
基準年月	木材製品の付加価値向上 及び新規販路の開拓事業	体験型森林ツーリズム事業	事業の名称

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

善 町内経済の活性化と雇用機会の創出を実現し、 向上及び新規販路の開拓事業』を一体的なプロジェク な森林資源を活用し、 が減少し、 平成〇年代以後は、輸入木材の台頭等により、 に移住する若者に対して補助金を交付するこ 〇年には、 本町は、山間部に所在しており、林業を基幹産業としてきた。 を促進し、 生産年齢人口の流出が続いてきた。 本町の人口は昭和〇年比で約〇%減となる見込みである。本町の豊か 人口減少に歯止めをかけること 『体験型森林ツーリズム事業』 とで生産年齢人口の転入超過 林業が衰退したこ あわせてUIJ このまま人口減少が進むと、 を目標とする。 及び トとして実施するこ 『木材製品の付加価値 ターンにより本町 しかしながら、 とで雇用の機会 \ \ \ (社会

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

0 特例 # 70 (内閣府) 4 \subset [A2007] と創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

① 事業の名称

森林資源活用プロジェクト

- ア 体験型森林ツーリズム事業
- イ 木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業
- ② 事業区分

農林水産業の振興

书 读 曲 11 뿌 ⊞ 怬 製御 H)

③ 事業の目的及び内容

【四四】

がら、平成○年代以後は、輸入木材の台頭等により、林業が衰退した 出を実現し、 減少が進むと、平成○年には、本町の人口は昭和○年比で約○%減となる なプロジェク 事業』及び『木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業』 見込みである。本町の豊かな森林資源を活用し、『体験型森林ツーリズム で雇用の機会が減少し、生産年齢人口の流出が続いてきた。 人口減少に歯止めをかけることを目的とする。 本町は、山間部に所在しており、 トとして実施するこ これに伴い生産年齢人口を転入超過 いなって 林業を基幹産業としてきた。 町内経済の活性化と雇用機会の創 (社会増) このまま人口 ななと R しかしな ·存的

【事業の概要】

ア 体験型森林ツーリズム事業

業者の観光収入の増加を図る。 **験型の森林ツーリズム (トレッキングや間伐体験等)** 業を実施する。 本町と林業組合、 この事業により、林業従事者の雇用の場の拡大と町内事 林業事業者が共同して、 町内在住の林業従事者が体 のガイドを行う事

イ 木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業

Š 町内の事業者とともに、 も一部出資)が生産し、 プについては、 たに木質バイオマスチップとして加工することができるよう、近隣市や 町と れまで建築用資材としてのみ活用されていた森林資源について、 してこれを資金面で後押ししていく。 近隣市と町内事業者が主体となって設立する新会社(町 製品開発を行う。 大都市圏の事業者に販売していくこ 開発した木質バイオマスチッ とになるの

加させ、 の事業により、町に新たな産業を生み出すことで、 町内経済を活性化するとともに、 雇用の場の拡大を図る 町内生産額を増

参 計画記載例 (H)

【各年の事業の内容】

ア 体験型森林ツーリズム事業

(平成30年度)

ニターツアー モニターツアーのPRを実施する。 森林ツアーのルートや体験事業のコンテンツについて検討し、 を5回実施する。あわせて、大都市圏の住民に対して H

(平成31年度)

林ツアーが本格的に始まったことをPRする。 から本格的に森林ツアー 上半期で本格的なトレッキングルー -を実施する。 大都市圏の住民に対して、 トの整備工事を終え、 下半期

イ 木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業

(平成30年度)

製品開発の主体となる会社を事業者とともに設立。 製品開発を開

(平成31年度)

開始。 製品開発と並行して販路開拓を開始し、 新たな販路に製品を出荷

④ 地方版総合戦略における位置付け

略の基本目標として、 交流人口拡大施策と木材製品の出荷促進施策を定めており、 用プロジェクト」は、これらを総合的に実施する事業である。 ロジェクトは、 人)、町内総生産額(現状50億円→平成33年度80億円)を定めており、本プ 本町のまち・ひと・ まさにこの目標の達成に直接寄与するものである。 年間観光入込客数(現状5,000人→平成33年度30,000 しごと創生総合戦略においては、森林資源を活用した 「森林保全・活 また、総合戦

参老 地域再生 唧 画記載例 全文

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))

平成32 年 3 月	1億2,000万円平成32年3月	4,000人	平成31年度
1億円平成31年3月		1,000人	平成30年度
1億円 平成30年 3月	1億円	人 0	申請時
	个权契品口何很	光客数	KFI
Η̈́Η	ユゲンナナ・17 ロ 川帯 ナキ・ナー	森林ツーリズム参加観	17 D 1
Ĥ II	販路の開拓事業	事業	世来り石砂
	体験型森林ツーリズム 木材製品の付加価値向上及び新規	体験型森林ツーリズム	神株のみ歩

6 事業費

体験型森林ツーリズム事業

事業費の区分 工事請負費 事業費計 使用料 委託料 役務費 需用費 平成30年度 16,000 7,500 1,000 6,500 300 700 事業費の額 平成31年度 27,000 20,000 3,000 3,000 1,000 (単位:千円) ⊒illi 43,000 1,700 27, 500 1,000 9,500 3,300

7 木材製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業

(単位:

出

43,000	9, 500	33, 500	信人
4,000	1,000	3,000	役務費
9,000	1,500	7,500	需用費
5,000	0	5,000	工事請負費
10,000	2,000	8,000	使用料
15, 000	5,000	10,000	委託料
<u> </u>	平成31年度	平成 30 年度	世米貝ットル
	事業費の額		世帯帯のマなり

参老 地域再生 計画記載例 全文

9 申請時点の寄附の見込み

(単位:千円)

20, 400	200	20, 200	<u>п</u> ;;
200	100	100	サービス業
200	100	100	製造業
20,000	_	20,000	株式会社〇〇
#	平成 31 年度	平成 30 年度	
	寄附の見込額		大学 / 女

⑧ 事業の評価の方法(PDCAサイクル)

【評価の手法】

ついて、 まえて次年度の事業手法を改良することとする。 〇〇支店役員、 事業のKPIである森林ツーリズム参加観光客数及び木材製品出荷額に 実績値を公表する。 ○●大学教授) *** により、事業の結果を検証し、 当町の総合戦略策定委員 改善点を踏 (△×銀行

【評価の時期及び内容】

翌年度以降の取組方針を決定する。 毎年度〇月に外部有識者 (総合戦略策定委員) による効果検証を行い、

【公表の方法】

で公表する。 目標の達成状況については、 検証後速やかに〇〇町公式WEBサイト上

⑨ 事業実施期間

平成〇年〇月~平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

H 唧 ⊞ 記載例 (H)

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

〇 若者移住定住促進補助金事業

① 事業概要

けることを目標とする。 U I Jターンにより本町に移住する若者に対して補助金を交付する 生産年齢人口の転入超過(社会増)を促進し、人口減少に歯止めをか 1 \cap

② 事業実施主体

③ 事業実施期間

平成30年4月1日から平成33年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から平成33年 3 月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

いて、 業手法を改良するこ 4に掲げるKPIである森林ツーリズム参加観光客数及び木材製品出荷額に ○●大学教授)により、 実績値を公表する。また、 ととする。 事業の結果を検証し、 当町の総合戦略策定委員(△×銀行○○支店役 改善点を踏まえて次年度の事

7 N 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

以降の取組方針を決定する。 毎年度〇月に外部有識者(総合戦略策定委員)による効果検証を行い、 翌年度

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

ر ا ا ا ا 目標の達成状況については、検証後速やかに○○町公式WEBサイト上で公表

地域再生計画作成チェックシート(企業版ふるさと納税)

作成された地域再生計画を内閣府に提出する前に、以下の項目をご確認ください。

89 8	29	□ 第三者がアクセスできる媒体で公表することとしていますか。	畑を行う内容 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法
3	00	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評
37)	28	□ 評価を行う者に行政以外の第三者が参画していますか、	重。
36)	28	□ 終期は平成33年3月31日以後としていますが。	7 目標の達成状況に係る評価に関する事項
31~35	26 • 27	業以上記載していますか。	
8	25	□ 該当する支援措置がない場合は、「該当なし」と記載しています か。	5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置
(2)	24	川	5-3 その他の事業
3)	2	で公表する	間開業事
26~28	23	価を行う者に行政以外の第三者が参画していま 価を毎年度行うこととしていますか。 二歩がレカコロなる。毎件にハまポスストトトト	® 事業の評価の方法(FDCAサイクル)
		□ 企業からの寄附の見返りとして、経済的な利益の供与を行うこと となっていませんか。	# *
(29	22	具体的な企業名を記載している場合、当該企業から地域再生計画 に記載することの了承が得られていますか。	
2	21	□ 予算書の筋ごとの区分で記載していますか。□ 1 体10万円以上の客附額が記載されていますか。	(6) 事業費 (7) 申請時点での寄附の見込み
		基る	
(6	5		
3	20	□●具体的である。	
		□ 数値目標は、次の全でを満たしたものとなっていますが。 □ ●アナルカムペースである。 □ ●ロチルフォッ	③ 事業の 表配水がに 関 9 る 各 転 的 な 指標 (重要業績評価 指標 (
22	19	はする地方版総合	
2	18	□ 大平 17 3 7 1 4 (v. 7、0 1 1、74 0 1、4 1 2 3 2 7 1 2 1 m 1 2 m 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	一番 カストバナー (本語を) はまれる (本語を) はまれる (本語を) はまままままままままままままままままままままままままままままままままままま
20	17	(マナナイナ ボルボ ソイズ)	【事業の概要】
19	16	□ 4-1及び4-2を踏まえた記載となっていますか。	
(8)	15		② 事業区分 ③ 事業の目的及び内容
(5)	14		① 事業の名称
(6)	14		(1) まち・ひと・しこと創生寄附店用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府): [A2007]
15	13	□ 5-2だけでなく、5-3で記載する事業の概要も記載していますか。	5-1 全体の 5-2 第5章
			5 地域再生を図るために行う事業
,		□ ●測定月能である。 □ ●達成可能である。 □ ●連成可能である。 ●地域再生基本方針及び貴団体が作成する地方版総合戦略と整合 がとれている。	
12~ 14	11 • 12	□数値目標は、次の全てを満たしたものとなっていますか。□●アウトカムベースである。□●具体的である。□●具体的である。	
€	10	課題は、地域再生に支障となるも 目標は、4-2の課題解決に管する	4-3 日標
€	10	4-1の現状か	4-2 地域の課題
4~10	4~9	□ 【地理的及び自然的特性】を必ず記載していますか。 □ データにけ 時占みが出典を明記していますか。	4-1 地域の現状
ω	3	□ 区域が特定できるように記載していますか。	3 地域再生計画の区域 4 地域再生計画の目標
©	2	□ (作成主体が市の場合) 市名のみ記載していますか。 □ (作成主体が市以外の場合) 都道府県名から記載していますか。	2 地吸再生計画の作成主体の名称
Θ	2	□ 改行していませんか。□ 記号や環境依存文字を使用していませんか。	
番号	風くと	確認項目	地域再生計画上の項目
\	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前に、以下の項目をご確認ください。	作成された地域再生計画を内閣府に提出する前に、



内閣府地方創生推進事務局